



Rin Rin  
2020.8 月発行  
りんりんの会

\* 凜(りん)として自分のために！ \* 輪(りん)として仲間のために！ \* 鈴(りん)として社会のために！

ジメジメとした悪天候が続いた中で 8 月に突入しましたが、皆様、その後お変わりなくお過ごしでしょうか？  
コロナ感染再拡大の状況下と重なり、なかなか気持ちも晴れない日々ですが、“元気で生活していれば、きっと明るい未来が訪れる！”とポジティブに考えて、この危機と一緒に何とか乗り切っていきたいものです。  
りんりんの会定例会等もなかなか再開出来ていませんが、**りんりん相談室**（毎月第 4(水)PM1:30～大崎市図書館 2 階研修室）は継続して開催しています。交流が少なくなってきた中で孤独感をお持ちの方、是非、足を運んでみてください。一緒にお話してみると、スッキリとすることもあると思います。  
りんりんスタッフがお待ちしています。お気軽にご参加くださいね。

## 【患者団体活動助成に関するお知らせ】

**\*「がん患者団体サポート事業」(日本対がん協会)の助成活動団体に採択されました！\***

★**40 団体の応募**の中から、「実現性や影響力、ユニーク度」に重点を置いて審査・検討され、「りんりんの会」を含む **11 団体への助成**が決定しました。**患者やその家族の支援を目的とした活動を実現するための事業費用**として、継続的な活動につながることを願っての助成とのことでした。

【りんりんの会で申請した内容】

オリジナルの「**りんりんパッド**」（乳がん患者様の為の補整用手作り胸パッド）の普及活動として、県内がん診療連携拠点病院などに「パッドサンプル」と紹介用冊子等を置いていただき、患者様方への情報提供につなげる。また、実際に手に取っていただくことで、**サイズ感や手触り感**、そして**手作りの温かさ**を実感していただく・・・という趣旨で活動を展開していく予定です。

**\*ピンクリボン啓発活動助成金支給団体に選ばれました！\***

★2 年前からピンクリボン啓発活動に力を入れている団体への助成支援を開始した「**認定 NPO 法人 J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)**」から、今年度、サポートをいただけることになりました。宮城県内では他に 2 団体が選ばれています。

【りんりんの会で申請した内容】

**11 月 28 日(土)**に開催予定の**りんりん研修会**（年に一度、一般の方々への啓発活動の一つとして実施）に、**自主上映会「がんになる前に知っておくこと」**を企画しています。「**病気をおそれるのではなく、知ること・正しい情報を得ることから始めましょう**」ということを一般の方だけではなく、体験者や医療関係者にも広くお伝えてして行きたいと考えています。その時期には、世の中が少しでも落ち着き、開催できる状態になることを願っています。



## 【AYA 世代の患者様方へ最新情報】

### \*宮城県がん患者生殖機能温存治療費助成事業開始(2020年7月~)\*

宮城県で10代半ば~30代の思春期・若年成人(AYA)世代のがん患者様を対象に、生殖機能温存治療の一部を助成する新制度が開始しました。

診断から短期間で生殖機能温存治療の判断を迫られる精神的な負担を軽減し、治療後に妊娠・出産を選択できる環境を整えることで、希望を持って治療に取り組めるよう後押しするという事業になります。

治療を受けるかどうかを決める為のカウンセリングと、卵子や精子の採取、凍結が制度の対象となります。詳細は宮城県 HP に掲載されていますので、関心のある方はご覧になってみてください。

### \*乳がんダイアリー 八方美紀 2020 NHK 放映 “がんになっても人生は続く” \*

8月9日(日)PM10:00~10:50 (BS1 スペシャル) 放映予定。

日本女性の11人に一人が生涯のうちに乳がんを経験する時代と言われています。SKE48の元メンバーの八方美紀さんは2018年(当時25歳)に乳がんの告知を受けました。手術を受けた直後から、治療や日々の思いを“自撮り”で伝える映像日記「#乳がんダイアリー八方美紀」を始め、ネット上で公開されています。

現在は再発を抑える治療を受けながら、「声優の道」の夢をつかもうと奮闘する八方さんの2年間の軌跡。どの年代の患者様方にも、同じ病気の体験者として共感できるところがあるかもしれませんし、「夢をあきらめない」という希望と勇気をもたらしてくれることと思います。

## 【がんサロンでのパッド講習会開催について】

### \*中止となっていた「補整用手作りパッド講習会」が今月から再開出来ることになりました！\*

今後の開催は下記の日程で予定しています。(PM1:30~3:30 参加人数:3名 事前申し込み必要)

●8/19(第3水) ●10/21(第3水) ●12/9(第2水) ●2021年2/10(第2水)

※ 詳細につきましては「がんサロン」にお立ち寄りいただく、又は、病院HPをご覧ください。

※ パッドに関するお問い合わせ：りりん携帯(090-6259-9205)

## ~りりん通信に寄せて No.44~

### 安楽死事件

大崎市民病院 乳腺外科科長 吉田 龍一

昨年、京都でALS(筋萎縮性側索硬化症)の患者が、医師二人によって殺害されたという事件があり、安楽死事件として報道されました。

ALSとは、運動ニューロン病という全身の運動神経のみが冒される疾患のひとつで原因不明の難病です。有名人ではルー・ゲーリック(大リーガー)、ホーキング博士(宇宙物理学者)、徳田虎雄徳洲会病院理事長らがいます。最近ではALSで国会議員になった人もいますが、日本では1万人弱の患者がいると言われています。

運動神経は脳の命令を筋肉に伝える役割をしています。従って、運動神経が冒されると、脳が命令しても筋肉は動かず、やがて萎縮していきます。手足を動かすことはもちろん、声を出したり、飲み込んだり、呼吸することも筋肉の働きですから、進行すれば呼吸停止に到ります。しかし、植物状態とは異なり、意識ははっきりしており認知機能も正常、目だけは動かすことができます。まるで、がんじがらめにされ全く身動きできず、目だけキョロキョロしているような状態なので、「閉じこめ症候群」とも言われます。

ですから、ALS が進行すると人工呼吸器が必要となりますし、胃瘻から水分や栄養を補給し、排泄もありますから、24時間誰かの助けが必要になります。最近は目の動きをカメラでキャッチしパソコンで意思表示ができるようになりましたが、このような状態で一生を過ごすということに皆さんは耐えられるでしょうか。

亡くなった患者さんは、あちこちに旅行に行ったり仕事も充実してまだこれからやりたいことがあったのに、という絶望感が強かったのも知れません。だからといって、死んでいい、見殺しにしていはいはなく、多くの ALS の患者さんはそんな中でも一所懸命生きています。この患者さんの想いは理解できないわけではありませんが、本来はそのような考えを持たないように、周囲・社会がサポートすべきなのだと思います。

ところで、安楽死とは苦痛を感じることなく死なせることで、積極的安楽死と消極的安楽死があります。積極的安楽死は動物に対してよくなされています。致死量の薬物などを投与して死に至らしめることで、一方、消極的安楽死は、救命や維持のための治療をしない、あるいは中止することによって死に至らしめることです。人に対する積極的安楽死が許される要件として、日本では法的に以下の4つが挙げられています。

- ① 患者が耐えがたい激しい肉体的苦痛に苦しんでいること。
- ② 患者は死が避けられず、その死期が迫っていること。
- ③ 患者の肉体的苦痛を除去・緩和するために方法を尽くしほかに代替手段がないこと。
- ④ 生命の短縮を承諾する患者の明示の意思表示があること。

今回の事件は積極的安楽死としてニュースになりました。しかし、少なくとも患者に死期は迫っておらず、主治医でも何でもない医師がこのような条件を満たすことなく、ただ死にたいという患者の希望を叶えたもので、法的には自殺幫助、あるいは囑託殺人以外の何物でもないと思います。

私自身は ALS の患者さんを診たことはないですが、同じように治る見込みのない末期がんの方に接することは多々あります。末期がんの患者さんに対して、直接手を下すのではなく苦痛を取りながら自然の経過に任せることがあります。安楽死とは違い、患者さんの死にたい気持ちに答えてる訳ではありません。がん患者さんの多くは早く死にたいというより、もっと生きたいという方がほとんどです。しかし、もはや有効な治療法がなく長生きできないことをご本人に伝え、残された時間をどうやって過ごすか一緒に考えることが大切です。がん治療をやめ緩和ケアに移行しましょうなどと話すことは、それが一番いいと思いつつも、ずっと見てきた患者さんを見放すようでつらいものです。

私は積極的安楽死に関わったことはありませんが、いわゆる消極的安楽死の場合でも、本人、家族のみならず我々医療者も本当にそれでいいのか葛藤があるはず。安楽死という言葉の響きは、全く苦痛を感じずに死ぬイメージですが、本人の心の奥底にはやはり無念さや悔しさ、諦めがあるのではないのでしょうか。「苦しむことなく・・・、眠るように・・・」と表現されますが、安楽なのは遺された方々で、ただの自己満足なのかも知れません。本人が最後になんと思っていたのかは誰にもわかりません。人の生き方も大事ですが、死にも大事と常々考えさせられます。

\* 今後の活動については、[大崎市民病院 HP](#) 又は [りんりの会ブログ](#) などで随時更新していきます。

\* 連絡窓口：大崎市民病院地域医療連携室 がんサロン ☎ 0229-23-3311 \*

